

感染症速報

作成日: 令和 6 年 7 月 4 日

第26週 6月24日 ~ 6月30日 <http://www.pref.nagasaki.jp/department/iki-h/index.html>

状況	状況		状況		状況	
	定点当り	疾患名	定点当り	疾患名	定点当り	疾患名
インフルエンザ	1.00	RSウイルス感染症	0.00	咽頭結膜熱	0.00	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
警報開始30 終息10	1.00	警報開始 - 終息 -	0.00	警報開始3 終息1	0.00	警報開始8 終息4
感染性胃腸炎	0.50	水痘	0.00	手足口病	0.00	伝染性紅斑
警報開始20 終息12	0.50	警報開始2 終息1	0.00	警報開始5 終息2	0.00	警報開始2 終息1
突発性発しん	0.50	ヘルパンギーナ	0.00	流行性耳下腺炎	0.00	新型コロナウイルス感染症
警報開始 - 終息 -	0.50	警報開始6 終息2	0.00	警報開始6 終息2	0.00	警報開始 - 終息 -

	発生報告なし		少数の発生あり		流行に注意【注意報レベル】		流行中【警報レベル】
--	--------	--	---------	--	---------------	--	------------

※警報レベル基準値は表示のとおり(-は設定なし。)、注意報レベル基準値は、インフルエンザ:10 水痘:1 その他は設定なし。

お知らせ

《新型コロナウイルス感染症について》

・新型コロナウイルス感染症の定点当たりの報告数は「8.33」で、前週「6.33」から増加しています。2023年においては、7月から8月にかけて報告数の増加がみられました。

今後も動向に注視し、場面に応じたマスクの着用や手洗い、換気、三密の回避などの基本的な感染対策に努めましょう。

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管轄別)										
	県	佐世保市	長崎市	舌岐	西彼	県央	県南	県北	五島	上五島	対馬
インフルエンザ	0.20		0.53	1.00		0.18					
新型コロナウイルス感染症	8.71	4.91	8.41	8.33	6.33	9.64	13.25	9.00	7.00	19.33	5.33

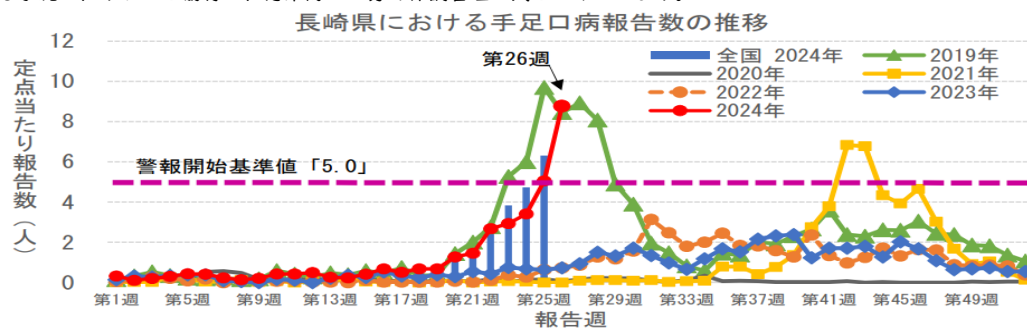
☆トピックス：手足口病に注意しましょう！

手足口病は、その名のとおり四肢および口腔内に水疱性の発疹を生じる疾患です。乳幼児での発症が多く、例年報告数の9割程度を5歳以下が占めますが、大人でも感染する可能性があります。主として咳やくしゃみなどのしぶきを介した飛沫感染や、飛沫や便に含まれるウイルスが手指を介して口から侵入する接触感染により広がります。主な原因ウイルスとしてコクサッキーウイルスA6(CV-A6)、CV-A16、エンテロウイルス71型(EV-A71)が知られています。

基本的には予後良好な疾患ですが、原因ウイルスによっては、中枢神経系合併症などのほか、心筋炎、急性弛緩性麻痺などの多彩な臨床症状を併発することがあります。

例年6～7月に流行する傾向にあります。長崎県の第26週の定点当たり報告数は「8.77」で7週続けて増加し、2週続けて警報レベル開始基準値「5.0」を超えました。地区別でも、本土地区すべてで「5.0」を超えています。

今後も手洗い、うがいを励行し、感染防止に努め体調管理に気をつけましょう。

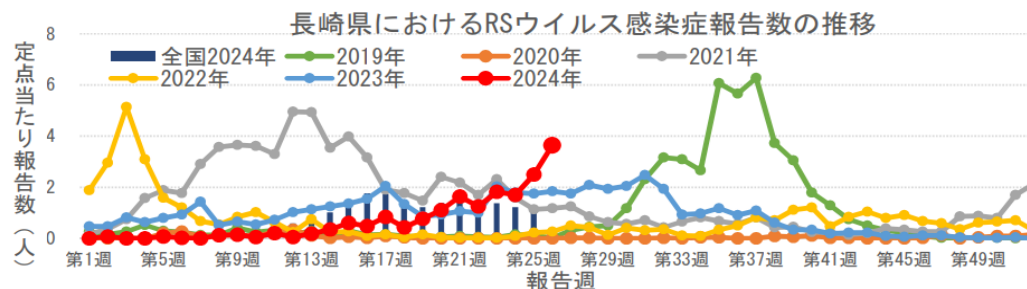


☆トピックス：RSウイルス感染症に注意しましょう！

RSウイルス感染症は、発熱や鼻水が主な症状の呼吸器感染症で、通常は軽症で済みますが、乳幼児、特に6か月未満の乳幼児では、重い咳が出て呼吸困難や肺炎、脳症になることもあります。感染経路は接触感染や飛沫感染で、一度かかっても再感染し、大人も感染することがあります。

県内の第26週の定点当たり報告数は「3.64」で、例年の同時期より多くなっています。

乳幼児には、手洗いの励行とともに、体調管理に注意して感染防止に努め、早めに医療機関を受診させましょう。



☆トピックス：梅毒の患者数が増加しています

梅毒は梅毒トレポネーマの感染によって生じる性感染症で、感染者との粘膜の接触を伴う性行為感染や妊婦の胎盤を通じて胎児に感染する(=先天梅毒)経路があります。

長崎県では2024年第26週までに53件の報告があります。2024年の報告を年代別にみると、男性では40代および50代、女性では20代が多くなっています。

梅毒は早期診断、早期治療が重要ですので、感染が疑われる症状がみられた場合、感染の不安がある場合には、早期に医療機関を受診しましょう。また、県内の保健所では、無料の相談・検査を受けられます(事前の連絡・予約が必要)。詳細は、長崎県感染症情報センター「梅毒の発生状況」に掲載しています。

